



伊賀市スポーツ推進委員協議会広報



## きばろうスポ推

No.4

令和7年12月1日発行

伊賀市スポーツ推進委員協議会  
会長 辻本 茂和

### スポーツの秋、スポ推お忙し

秋はスポーツの秋、私たちスポ推にとっては大変忙しいシーズンでした。しかも猛暑が長引いて各地区でのスポーツ行事で、熱中症に気を配りながらの活動となりました。今回は8月から11月までの3か月の事業活動と、これまでの研修会の紹介をいたします。



### 伊賀市民スポーツフェスティバル（スポ推関係種目）

伊賀市民スポーツフェスティバルの総参加者数は1,008名！

スポ推は27名がそれぞれの種目で活躍しました。

#### ウォーキング 島ヶ原地区内（令和7年10月26日）



当日はあいにくの雨で中止になりました。事務局や本会役員で何度も現地調査をして、地元の方々とも調整を図って準備を進めましたが、残念な結果となりました。

本来は、島ヶ原内の史跡をめぐり、歴史を感じながら、気持ちよく汗を流す予定でした。

#### ボッチャ 阿山B&Gアリーナ（令和7年10月26日）

スポーツフェスティバルの正式競技となって2年目を迎える、12チーム46名の参加者がありました。ボッチャはパラリンピックの種目にあるように、パラスポーツと言われる障がいのある人が行う競技というイメージが強いですが、最近では障がいのある人もない人も、レクリエーションとして楽しむ機会が多くなっています。この競技は、スポ推が独自に中心となり、運営を行いました。さらに、審判ができるように前もって研修するなど力を入れている競技です。



### ビーチボールバレー 大山田 B&G 海洋センターアリーナ（令和7年10月26日）

昨年度から、新しく始めた種目です。これまでスポーツフェスティバルでは、9人制のバレーをやっていましたが、新型コロナのためスポーツフェスティバルが中止している間に参加チームが少なくなり、実施することができなくなっていました。そこで、レクリエーション的な要素の強いビーチボールバレーをスポ推が提案し、実施することになりました。これも、スポ推が運営を担っています。ビーチボールといっても、白熱するとなかなか激しい運動で十分楽しめたと思います。



### カローリング 伊賀市立上野南中学校体育館（令和7年11月9日）

以前は32チームもの参加をいたしましたが、コロナ禍で、スポーツ活動が下火になり、スポーツフェスティバルを再開した時点で一桁の参加となりました。今年度は12チームの参加と少し戻りつつあります。今年度初めて参加してくれたチームや職域で参加してくれたチームもあって、今後の広がりを期待しています。



### 伊賀上野シティマラソン（令和7年11月30日）



毎年恒例となっている伊賀上野シティマラソン。今年の大会は2,444名のエントリーがありました。

スポ推は、前日の準備から、早朝の駐車場の整理、バスの運行、走路の警備、表彰の補助、その他もろもろの業務を行ったあと、会場の片づけや沿線の看板の撤去などほとんどの仕事を分担し大会運営を支えました。



私たちが直接ランナーと接することは少ないので、走り終わって足を引きずりながらシャトルバスに乗った方から、「ありがとう。またくるね。」と、言ってもらったりすると大変うれしいですね。今年はスポ推のメンバーの入れ替えがあり、初めてマラソンの運営にあたる人が多かったのですが、そんな皆さんも心配はしながらも、それぞれの業務を主体的かつ熱心にこなしてくれました。

## 研修もきばっています

実技研修会を2回開催しました！

ボッチャ・ビーチボールバレー・ボール研修会（令和7年6月7日）

カローリング・モルック研修会（令和7年9月27日）

伊賀市民スポーツフェスティバルで実施される、スポ推が運営する競技を2回に分けて研修しました。慣れた方も多いのですが、約半数が初めてこの競技に触れるというこ



とで、研修といいながら、楽しく体感してもらいました。ルールや競技方法を学んだ参加者からは、「ぜひ、自分の担当地区に持ち帰り、地域でやってみたい」という感想がいくつも出されました。



この研修には延べ30名のスポ推が参加しました。

三重県スポーツ推進委員初任者研修・階層別研修会（令和7年6月14日）



就任3年目までのスポ推を対象にした初任者研修と、6年目以上のスポ推を対象にした階層別研究会が三重県勤労者福祉会館で開催されました。この研修は毎年6月頃に開催されています。

伊賀市からは、初任者研修に3名が参加しました。階層別研究会には参加者はいませんでしたが、辻副会長が講師として、各地の幹部や中堅層に対し「各市町の協議会の課題を解消し、市民のスポーツ活動に寄与するにはどうするのか」というテーマで、ワークショップを指導しました。辻副会長のほかにも伊賀市から2名のメンバーが講師として参加しています。

三重県スポーツ推進委員研修会（令和7年7月26日）

スポ推としての資質の向上及び県内のスポ推間の交流を図ることを目的に、三重県スポーツ推進委員協議会第1事業部会（女性部会）主催で研修会が日硝ハイウェーアリーナ（旧サオリーナ）で開催されました。

本年度は、スポーツ体験研修として、「ピックルボール」と、「ボッチャ」を体験しました。

「ピックルボール」は、パドルと呼ばれるラケットと穴の空いたプラスティック製のボールを打ち合うスポーツで、バトミントンのコートと同じサイズで行います。



今回は四日市市ピックルライジングの 12 名が講師となり指導くださいました。テニスをするような感覚ですが、室内で行うので、冷房のある会場では熱中症対策にもなると思いますし、テニスなどの経験がなくても、少し慣れてくれば楽しくプレーできるスポーツだと感じました。「ボッチャ」は経験者も多く、参加したスポ推が入れ替わり審判



(競技進行) を務めましたが、各地域で行う競技方法に違いがあり、勉強になりました。

このような研修は、新しいスポーツを学ぶ良い機会です。委任されたスポ推として積極的に参加し、地域交流を深めることを期待します。

今回、県内からのスポ推と事務局の参加者数は 175 名で、伊賀市からの参加は事務局を含め 8 名でした。

#### 令和 7 年度伊賀市スポーツ推進員研修会（令和 7 年 8 月 9 日）

スポ推の資質の向上を目的とし、毎年テーマを変えながら全体研修を行っています。今年は、「リスクマネジメント」をテーマに、熱中症対策と AED を使用した心肺蘇生法の研修を行いました。スポーツに怪我はつきものかも知れませんが、



救命方法を知っているか、知らないかで行事に参加した人たちの安全が大きく変わってきます。そのようなことから参加者全員（何度も受けている人も多いのですが）が熱心に取り組みました。



この研修の参加者は 21 名でした

#### 第 66 回全国スポーツ推進委員研究協議会 長野大会（令和 7 年 11 月 13 日～14 日）



全国のスポ推が一堂に会し、スポ推の目指す方向や地域スポーツの今日的な課題について研究協議し、スポ推の資質向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資することを目的に開催され、全国から約 3,300 人のスポ推が集まりました。

開会式の後、基調講演があり、「今日を生き抜く—普通の私がカナダ初の金メダルを掴むまで」をテーマにパリオリンピック柔道女子 57kg 級金メダリストの出口 クリストさんのお話を聞きました。2 日目は、分科会が行われ、地元の発表がありました。伊賀市からは、稻増副会長と山本いずみ委員が参加しました。